

平成29年度 第4回気高地域振興会議議事概要

日 時 平成29年8月30日(水)午前9時から午前9時30分

場 所 気高町コミュニティーセンター 2F大会議室

〔出席委員〕

河根裕二委員、池長綾子委員、池原隆秋委員、横田昭男委員、荒尾 極委員、
水津文恵委員、米田克彦委員

〔欠席委員〕

西尾雅彦委員、田中洋二委員、田中敦志委員、松本弥生委員、三澤秀正委員

〔事務局〕

武田敏男支所長、橋本浩之副支所長、木下敬一産業建設課長、
石井盛光地域振興課課長補佐、奥村上雅浩生涯学習・スポーツ課長、山本靖浩主幹

〔傍聴者〕

なし

◎会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 報告事項
 - (1)分室管理施設の指定管理者制度導入について
- 4 その他
 - (1)風力発電事業説明会のお知らせについて
- 5 閉会

◎議事概要

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 報告事項
 - (1)分室管理施設の指定管理者制度導入について

【事務局】資料1に基づき、気高町体育施設等について、平成30年度から指定管理者制度導入することについて説明しました。

【委員】気高町運動場は指定管理には入っていないということだが、使用料についてはどうか。

【事務局】使用料については、平成25年度から5年間、体育協会気高町支部に管理委託をしておき、気高町民は無料としていました。平成30年度からは、教育委員会気高町分室が管理することになっており条例どおりの使用料となります。

【委員】一括指定管理となるのか。また、応募の見込みはあるのか。

【事務局】西地域の施設を一括で募集する方向で検討しているところです。応募の見込みは、現在のところわかりませんが、仮に応募があった場合は、条件等の見直しをして、再度募集します。

【委員】指定管理導入後は、事故等があった場合は鳥取市が責任を取るのか。

【事務局】公の施設である以上、最終的には鳥取市が責任を負うこととなります。

【委員】市民サービスの向上となるのか。

【事務局】指定管理者との協議となりますが、祝日の開館や閉館時間など、柔軟な対応ができるものと考えています。また、鍵の貸出方法など、現在よりスムーズになると思われます。

【委員】指定管理導入施設の中には、中学生が利用している施設もあるがどのように考えているか。

【事務局】指定管理の条件として、優先的に中学校の授業や部活動が出来るように仕様書に盛り込み支障がないようにしていきます。

【委員】旧市内では、既に指定管理制度が導入されていると聞いているが、いつ頃導入されたか。

【事務局】市民体育館や美保球場など指定管理者制度がはじまって、程なく導入しています。

地区体育館については、指定管理ではないが各地区体育会に管理委託をしています。

直接鳥取市で管理している体育施設は旧市域にはありません。

4 その他

(1) 風力発電事業説明会のお知らせについて

【事務局】資料2「風力発電説明会のお知らせ」を各集落に回覧したことを報告。

【委員】とくに意見なし。

5 閉会

視察研修

日 時 平成29年8月30日(水)午前9時30分から午後17時00分

場 所 道の駅「あらエッサ」(島根県安来市) 道の駅「たたらば壱番地」(島根県雲南市)

〔出席委員〕

河根裕二委員、池長綾子委員、池原隆秋委員、横田昭男委員、荒尾 極委員、
水津文恵委員、米田克彦委員

〔欠席委員〕

西尾雅彦委員、田中洋二委員、田中敦志委員、松本弥生委員、三澤秀正委員

〔事務局〕

武田敏男支所長、橋本浩之副支所長、木下敬一産業建設課長、
石井盛光地域振興課課長補佐、吉田稔企画員(地域振興課)

視察研修概要

平成30年度、気高道の駅(仮称)完成が予定されている。

気高道の駅完成後、地域周辺の活性化に向けて、運営方法などの視察研修をおこなった。

1. 道の駅 あらエッサ(平成23年4月オープン)

所在地 島根県安来市中海町118番地1

敷地面積 約13,200㎡

建築面積 約 917㎡

あらエッサ駅長からの説明

周辺の景観との調和を考慮した木造平屋建であり島根県で27番目にできた駅。

国道9号線に面しているため平日・休日の区別なく交通量が多い。

農産物等販売所(JA運営)では市内で取れた四季折々の農産物、農産加工品が並び、利用者の6割が農産物を買って求めている。

海産物販売所では、安来市に漁港はなく松江三津漁港から仕入れている。

和風レストランは、松江市から明治39年建築の古民家を移築、再利用。

情報コーナーでは、地域文化にも親しんでいただくための安来弁講座など駅職員手作りの地域色ある番組を放映、好評である。

一体型ではなく、それぞれに事業者が入っている。駅長は、安来市の嘱託職員である。

駅長の仕事として、情報発信、イベント企画をしている。

入込客は年間約28万人。

質疑応答

【委員】運営は、独立採算でしているのか。

【駅長】それぞれが、売上の一部を市に納めて運営している。

【委員】職員は駅長1名で運営しているのか。

【駅長】駅長と職員4名交代制で勤務している。(平日2名、週末は3から4名体制)

【事務局】イベントは、市からの予算か。

【駅長】運営事業者・地元事業者・市で、イベント別に出しあっている。

2. 道の駅 たたらば壱番地(平成25年3月オープン)

所在地 島根県雲南市吉田町吉田4378番地31

敷地面積 約2,544㎡

建築面積 約 778㎡

たたらば壱番地駅長からの説明

無料休憩室棟(情報コーナー、トイレ)24時間利用可能。入込客は年間約40万人程度。

振興施設棟(特産品販売コーナー、地域食材提供コーナー、軽食販売コーナー、農産物販売コーナー)。

平成28年4月に国交省トイレが完成した。

休館日は、原則年中無休(年1回施設メンテナンス)

イベント 道の駅特産品総選挙(春・秋)。

菌山街道2017 きのこを使い開催。

秋の収穫祭 地元の食材を使って開催。

駅長となって今年の10月で3年目。利用者の皆様からご意見を聞きながら運営をしている。

質疑応答

【委員】雪が多いということだが、困ったことはなかったか。

【駅長】高速道路開通当初は、スタッドレスを履いていない方もいらっしゃったので、通行止めにな

ることがあったが、現在は、積雪情報など道の駅を利用して情報収集していただいている。また、ここの道の駅は屋根の形状の影響もあり、大雪の時は駐車場の除雪が大変である。

【委員】独立採算でしているのか。

【駅長】雲南市から指定管理費、国交省からトイレの管理委託費、また、指定管理業者からも維持管理費を頂き運営している。土日祝日は、警備員を配置しているので、かなりの費用がかかる。

【委員】気高ではトイレが奥に計画されているがどう思われますか。

【駅長】道の駅のトイレは24時間利用されることもあり、別棟が望ましいと考えてます。

【駅長】駅長と副駅長で管理しているがスタッフが足りない。